

## < 口腔の役割 >

### はたらくるま ー献血バスー

当院にも定期的に献血バスが派遣されますが、近郊では休日にショッピングモールの敷地内にも献血バスが停まり、献血を呼びかけているところをよく目にします。

この献血バス、正式には「移動採血車」といいますが、その歴史は1961年にまでさかのぼり、東京で献血バス第1号が完成し、翌年1962年に稼働、最初の配送先は厚生省（当時）と東京都庁で50人から献血協力が得られたそうです。

第1号献血バスの完成から約60年経った現在、全国で約300台ちかくの献血車が配備され、配車計画に沿って稼働しています。またほとんどの献血バスは組織や企業から寄贈されたもので約半分は「宝くじ協会」から寄贈されているそうです。



1979年製 トミカ いすゞ 献血バス

地域や配送先の状況により変わりますが、1台の献血バスには医師1名、採血職員3名、運転手を含めた事務職員が3名の、合わせて7名での運用が標準です。

さて、献血ですが、一定の条件があり、日本赤十字社のホームページでは「献血をご遠慮いただく場合」として次の事をあげています。（詳しくはホームページや献血会場でご確認下さい）

休日のショッピングモールで献血バスを見かける理由、それは若くて健康な世代がたくさん集まり、安定した献血協力が得られること、さらに献血バスが停車でき、受付や献血カードの発行、献血者の休憩場所が展開できるといった立地条件がクリアされているからです。「はたらくるま献血バス」を見かけたらぜひ応援してあげてください。

### 献血をご遠慮いただく場合

---

- ・当日の体調不良、服薬中、発熱等の方
  - ・出血を伴う歯科治療(歯石除去を含む)を受けた方
  - ・一定期間内に予防接種を受けた方
  - ・6か月以内にピアスの穴をあけた方
  - ・6か月以内にいれずみを入れた方
  - ・外傷のある方
  - ・動物または人に咬まれた方
  - ・特定の病気にかかったことのある方
  - ・海外旅行者および海外で生活したことがある方
  - ・輸血歴・臓器移植歴のある方
  - ・エイズ、肝炎などのウイルス保有者、またはそれと疑われる方
  - ・クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)の方、またはそれと疑われる方
  - ・妊娠中、授乳中の方
- 

(参考)

日本赤十字社 群馬県赤十字血液センター <https://www.bs.jrc.or.jp/ktks/gunma/index.html>



新型コロナウイルス感染が続く中、献血バスの受け入れ先が減少し、献血が不足しています。献血バスを見かけたらぜひご協力をお願いします。

【歯科口腔外科診療部長 今井 正之】

